

## 民営化宿泊施設のあり方検討部会の最終報告について

民営化宿泊施設（富士学園及び弓ヶ浜クラブ）のあり方について、区政経営改革推進本部の下に設置した「民営化宿泊施設のあり方検討部会」において検討を進め、今般、中間まとめに対する区民意見も参考に、最終報告を、別紙「民営化宿泊施設（富士学園及び弓ヶ浜クラブ）あり方検討最終報告」（以下「報告書」という。）のとおりに取りまとめたので、報告します。報告書の概要は以下のとおりです。

### 1 区民意見の概要と区の考え

#### （1）中間まとめに対する区民意見聴取の実施

民営化宿泊施設（富士学園及び弓ヶ浜クラブ）あり方検討の中間まとめ（以下「中間まとめ」という。）に対して、区政モニター及び広く区民を対象としたWEBアンケートにより、区民意見を聴取し、合計544人から回答を得た。

区分	内容	
対象	区政モニター	杉並区民
調査期間	令和4年10月3日～10月24日	令和4年10月1日～10月30日
調査方法	WEB回答もしくは郵送	WEBアンケート
回答状況	143人／200人（回答率72%）	401人

#### （2）集計結果の概要（報告書抜粋）

- 移動教室を除く利用頻度については、両施設共に、「利用したことはない」が「利用したことがある」を上回った。「利用したことはない」理由は、「その他」が最も多く、「施設の存在を知らなかった」「一般利用できることを知らなかった」とする回答が多かった。
- 中間まとめに対する賛否については、両施設共に、賛成（どちらかといえば賛成を含む。）が反対（どちらかといえば反対を含む。）を上回った。両施設共に、賛成の理由は、「施設の老朽化のため多額の改修経費が必要になるから」「利用している人が少ないから」が半数を占めた。一方で、反対の理由は、「区の施設は安心して利用できるから」が最も多く、次いで「定期的に利用している、今後利用するつもりでいるから」が多かった。
- 賛成・反対を施設の利用頻度別で見ると、両施設共に、賛成は「利用したことはない」が9割を超え、反対は「利用したことがある」が半数程度となっている。
- また、利用したことはない人の約6割は賛成である一方、利用したことがある人の約8割が反対しており、利用経験の有無によって賛成・反対が分かれる結果となった。

#### （3）区民意見に対する区の考え

報告書のとおり。

### 2 最終方針

中間まとめに対する区民意見とその意見に対する区の考えを踏まえ、今後の両施設のあり方等についての最終方針を以下のとおりとする。

#### （1）富士学園及び弓ヶ浜クラブ（民営化宿泊施設）の廃止

- 富士学園は、令和4年度末に移動教室事業での利用を終了することから、現運営事業者との無償貸借契約満了を迎える令和4年度末をもって廃止する。

- 弓ヶ浜クラブは、令和5年度までは移動教室事業での利用を予定していることから、現運営事業者との無償貸借契約を1年間更新し、令和5年度末をもって廃止する。

## (2) 財産の有効活用策の検討

- 民営化宿泊施設廃止後の建物及びその敷地については、区民意見も参考に、忍野村及び南伊豆町の意向を確認した上で、地域特性を生かした活用策を検討する。併せて、不動産鑑定の結果を踏まえて、事業者等にヒアリングを行い、賃貸借による活用や売却など、最も有効な財産活用策を検討する。

【参考】不動産鑑定評価額（令和4年12月1日時点）

富士学園（建物及び敷地）	261,000,000円
弓ヶ浜クラブ（建物及び敷地）	45,600,000円

## (3) 忍野村及び南伊豆町との自治体間交流

- 民営化宿泊施設廃止後も、忍野村及び南伊豆町と相互に連携を図りながら、区役所等での観光物産展や写真展の開催、観光パンフレットの配布、区ホームページ・SNSを活用したイベント等での交流・情報発信を行う。
- 引き続き、お試し移住や地元との交流事業等による関係人口の創出など、地方創生に向けた取組を推進していくとともに、忍野村及び南伊豆町の取組のPRを積極的に実施するなど、区民と地元との交流を促進していく。

## (4) 移動教室の実施方法

- ①小学5年生の移動教室事業
  - 富士五湖周辺の民間宿泊施設を利用して実施し、これまで富士学園周辺で蓄積してきた体験プログラム等のノウハウを生かしつつ、今後は、各校の希望する時期に移動教室事業を実施できることから、各校の特色に応じた教育活動の充実を図っていく。
  - このほか、忍野村内の民宿で実施してきた忍野村観光協会の協力による郷土料理体験については、村民と交流しながらの貴重な体験となることから、今後も継続していく。
- ②小学6年生の移動教室事業
  - 一部の学校を除き、令和6～8年度については、これまでと比較して移動時間が短く、体験プログラムが豊富な長野県白樺湖周辺で実施し、現地での十分な活動時間を生かして各校の特色に応じた教育活動を行い、充実を図っていく。
  - 児童数の少ない一部の学校では、これまでも宿泊日数を増やした上で南伊豆町の複数の民宿に分宿し、町民との交流も行っていることから、今後も引き続き、南伊豆町で実施し、交流体験や自然体験等の充実した活動を行っていく。
- ③事業の経費
  - これまでと同様に、宿泊費・バス代等を公費で負担することとする。

## (5) 区民への保養機会の提供

- 従来の区民利用者に対しては、代替施設としてコニファーいわびつや湯の里「杉菜」（協定旅館）のほか、北塩原村との「まるごと保養地協定」・青梅市との「交流に関する協定」施設を案内する。
- 「区政経営改革推進計画」に基づく、令和5年度のコニファーいわびつのあり方の検討・方針決定に当たっては、区民への保養機会の提供に係る今後のあり方についても併せて検討する。

## 3 今後の主なスケジュール

令和5年	3月	広報すぎなみ3月1日号及び区公式ホームページで公表
	4月	民営化宿泊施設（富士学園）廃止
令和6年	4月	民営化宿泊施設（弓ヶ浜クラブ）廃止

民営化宿泊施設（富士学園及び弓ヶ浜クラブ）あり方検討

最終報告

令和5年1月

杉並区

## 目次

1	富士学園及び弓ヶ浜クラブの概要 .....	1
2	富士学園及び弓ヶ浜クラブのあり方検討の経過 .....	2
3	富士学園及び弓ヶ浜クラブの現状と中間まとめにおける対応方針 .....	3
4	区民意見の概要と区の考え .....	5
5	最終方針 .....	11

※表中の構成比は小数点以下第1位を四捨五入しています。

※表中の構成比「0」は集計した数値が表章単位に満たないものを示しています。

# 1 富士学園及び弓ヶ浜クラブの概要

- ① 富士学園（昭和 39 年 7 月開設）及び弓ヶ浜クラブ（昭和 55 年 4 月「弓ヶ浜学園」として開設）は、区立小学校の移動教室事業を実施するための校外施設として直営により運営し、移動教室実施期間（夏休み期間を除く、概ね 5 月から 10 月の平日）以外の期間は、目的外利用として区民の一般利用に供していた。その後、平成 14 年度からは、民間事業者の創意工夫によるサービス向上や、より効率的・効果的な施設運営を図るため、23 区初の民営化宿泊施設として転換し、以降、民間事業者が運営している。なお、民営化以降も区立小学校の移動教室事業については、優先利用を行ってきた。
- ② 区では、両施設のほかに、湯の里「杉菜」（昭和 37 年 4 月「区民寮」として開設）、コニファーいわびつ（平成 6 年 7 月「すぎなみ自然村」として開設）を保養施設として運営し、区民が安価にかつ気軽に、心身ともにリフレッシュできる保養の機会を提供してきた。このうち、湯の里「杉菜」については、有利な条件で売却が見込めたことから、平成 25 年度末をもって廃止・売却し、現在は、区民が一般料金よりも低料金で利用できる「協定旅館」として、区民に保養の機会を提供している。
- ③ こうした経過を経て、区は現在、富士学園、弓ヶ浜クラブ及びコニファーいわびつの 3 施設を民営化宿泊施設として運営している。3 施設ともに各運営事業者と 3 年ごとに契約を行っており、現在の契約期間は、富士学園及び弓ヶ浜クラブは令和 4 年度末、コニファーいわびつは令和 5 年度末までとなっている。

区分		富士学園	弓ヶ浜クラブ
所在地		山梨県南都留郡忍野村忍草 2997	静岡県賀茂郡南伊豆町湊 781
開設年月日		昭和 39 年 7 月	昭和 55 年 4 月
竣工年月日		平成 2 年 12 月（築 32 年）	昭和 55 年 3 月（築 42 年）
構造		鉄筋コンクリート 2 階建	鉄筋コンクリート地上 3 階地下 1 階建
定員・客室		132 名・21 室	131 名・27 室
利用料金 大人(1泊2食) ※別途シーズン料金あり。		平日 7,920 円 休前日 8,910 円	平日・休前日 8,140 円
		区民は上記料金から 1 泊につき 2,000 円（65 歳以上及び障害者の方は 3,000 円）補助	
運営形態等	開設から平成 13 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外施設（区が委託により運営）</li> <li>・移動教室で使用しない期間は、目的外利用として一般利用</li> </ul>	
	平成 14 年度から現在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民営化宿泊施設（民間事業者が運営）</li> <li>・移動教室で使用しない期間は、一般利用</li> </ul>	
運営事業者との主な契約内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設として運営することを条件に施設を無償で貸し付け、運営事業者は、営業利益の 2 分の 1 を管理監督費として区に支払う。</li> <li>・施設修繕は、施工金額が 130 万円未満の小規模修繕は運営事業者が行い、区が必要と認める大規模修繕は区が行う。</li> </ul>	

## 2 富士学園及び弓ヶ浜クラブのあり方検討の経過

- ① 平成 23 年度、民営化から 10 年が経過したことを契機に、杉並区外部評価委員会の下で実施された「事務事業等の外部評価」において、民営化宿泊施設のあり方について評価を行った。外部評価委員会からは、「今後の大規模修繕等を考えると施設を維持していくべきかどうか、廃止も踏まえた抜本の見直しを図っていくべきである。」との意見が付された。
- ② 平成 25 年 2 月、前述の外部評価委員会の意見を踏まえ、両施設のあり方について、区内検討組織で検討した結果、両施設を区が保有することの適否については、今後の大規模修繕の時期や施設の運営状況等を踏まえて中長期的な検討課題としつつ、運営事業者に経営改善やサービス向上を求めた上で、当面の間、運営を継続することとした。
- ③ その後、「行財政改革推進計画」に基づき、施設保有の適否の検討を継続させるとともに、運営事業者による経営改善を図ることとした。運営事業者においては、各施設のホームページでの情報発信のほか、民間宿泊予約サイトへの掲載、団体利用への営業活動（スポーツ団体の合宿等）、現地の観光協会との連携（ホームページへの掲載）などにより、集客の拡大に努めるとともに、提供する食事メニューの充実（特別料理メニュー等）や冬季割引プランの導入など、施設利用者アンケートの意見をできる限り迅速に反映させ、サービスの向上に努めてきたところである。
- ④ 区は運営事業者と共に、施設の経営改善に向けて取り組んできたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大による影響を概ね受けていない令和元年度においても、両施設共に、営業利益を生むほどの経営改善は図られなかった。また、富士学園は築 32 年、弓ヶ浜クラブは築 42 年が経過しており、施設を維持していくためには、今後、大規模な修繕が必要となる（今後 10 年間で約 10 億円を想定）。
- ⑤ 移動教室事業について、富士学園は、児童数の増加に加え、新型コロナウイルス対策ガイドラインによる施設の収容人数の縮小により、大規模校の利用ができないこと、弓ヶ浜クラブも、今後の児童数の増加に伴い利用できなくなる学校が生じることに加え、施設への移動に 4 時間以上を要するため、現行の宿泊数では活動時間が短く、体験プログラムの内容が制限されること等が課題とされてきた。これらを踏まえ、教育委員会では、移動教室事業における宿泊場所について、見直しの検討を始めた。なお、区立中学 1 年生を対象としたフレンドシップスクール事業については、これまで、区の交流自治体で実施（群馬県東吾妻町での実施に際してはコニファーいわびつに宿泊）していたが、長時間の移動に伴う生徒や教員の負担が大きい等の課題があったことから令和 3 年度に見直しを行い、令和 4 年度から東京近郊での実施に変更している。
- ⑥ こうしたことから、区は、令和 3 年度に策定した「区政経営改革推進計画」において、両施設の利用状況や区民ニーズの変化、施設の老朽化等を踏まえて検討し、区

政経営改革推進本部の下に「民営化宿泊施設のあり方検討部会」を設置し、両施設のあり方の方針の決定に向けて、検討を進めてきた。

- ⑦ その結果、移動教室事業の今後の方針や施設の利用状況、事業者ヒアリングの結果等を踏まえ、令和4年8月に、両施設を廃止とする中間まとめを取りまとめた。

### 3 富士学園及び弓ヶ浜クラブの現状と中間まとめにおける対応方針

中間まとめの検討に際し、次のとおり、両施設の現状及び課題を整理し、それらを総合的に勘案して、両施設を廃止とする対応方針を示した。

#### (1) 利用状況

##### ① 移動教室での利用状況

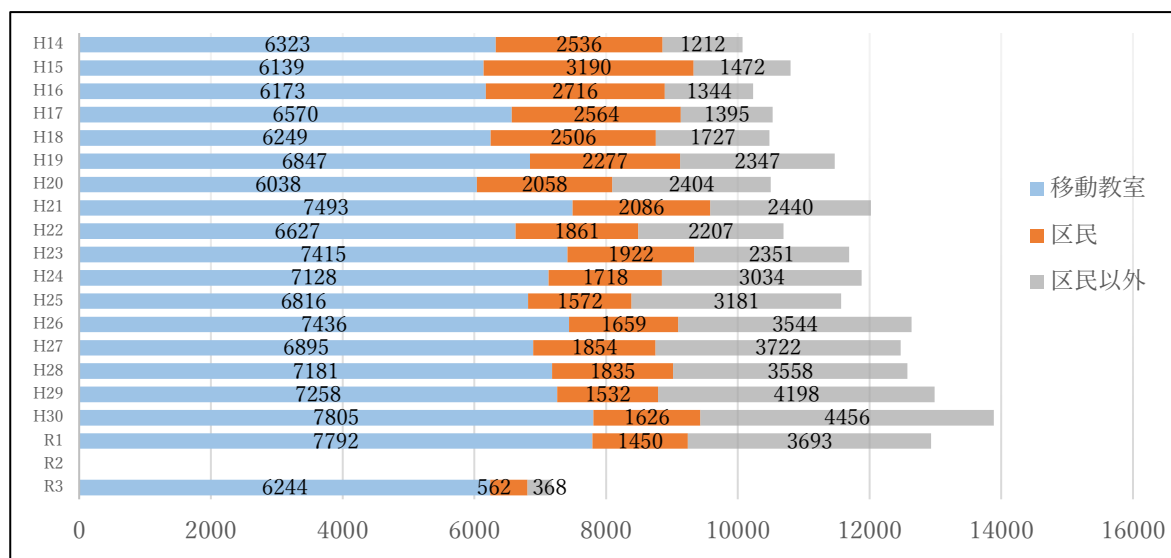
- 両施設共に、小学校移動教室事業での利用が施設利用者数全体の約6割を占めている。
- 教育委員会は、小学5年生の移動教室事業について、富士五湖周辺の民間宿泊施設を利用して実施し、令和4年度末で富士学園の利用を終了することとした。
- 小学6年生の移動教室事業については、一部の南伊豆町の民宿において実施している学校を除き、新たな場所で開催することとし、令和5年度末で弓ヶ浜クラブの利用を終了することとした。

##### ② 一般利用者の利用状況

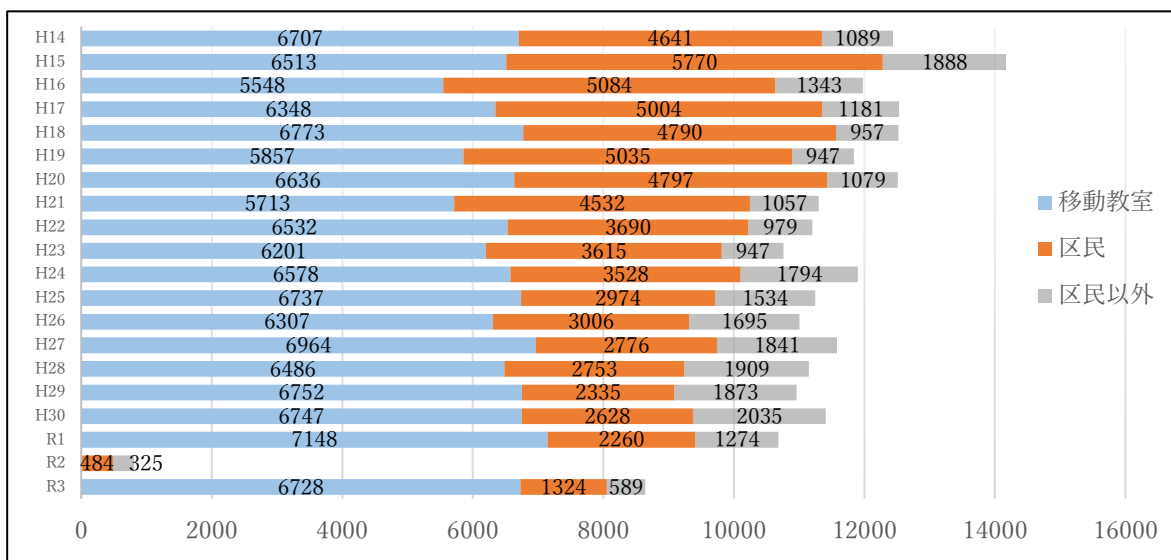
- 両施設共に、移動教室事業を優先していることから、一般利用者数は施設利用者数全体の約4割となっている。
- 一般利用者数は、両施設共に、区民は平成15年度、区民以外は平成30年度をピークに減少している。
- 一般利用者数のうち区民の利用者数は、両施設共にピークであった平成15年度と比べ、新型コロナウイルス感染症感染拡大による影響を概ね受けていない令和元年度においても半減している。また、一般利用者に占める区民の割合についても、両施設共に減少している。
- 区民以外の利用者数は、民営化当初の平成14年度と令和元年度を比較すると、富士学園では3倍、弓ヶ浜クラブでは1.2倍に増加しており、一般利用者に占める区民以外の割合は、富士学園では32%から72%に、弓ヶ浜クラブでは19%から36%に増加している。

## ◆利用者数の推移

### 【富士学園】



### 【弓ヶ浜クラブ】



※令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、一般利用者数は、区民・区民以外共に、著しく少ない状況が続いている。

### (2) 設備等の状況

- 富士学園は築32年、弓ヶ浜クラブは築42年を経過し、老朽化が進んでいることから、今後、設備機器の更新など、大規模な改修が必要となる。
- 両施設は、移動教室事業のための校外施設として建設されたため、共同トイレであることや各部屋に洗面所がないこと、部屋の間取りなど、一般の民間宿泊施設と比べて、集客面で不利になっていることは否めない。

### (3) 運営状況

- 区は、運営事業者に、両施設を宿泊施設として運営することを条件に、施設を無償で貸し付けている。運営事業者は営業利益の2分の1を管理監督費として区に支払うこととしているが、一般利用者数の減少等により、平成29年度以降は利益が出



ておらず、区への管理監督費の支払いがない状況が続いている。

- 両施設の現運営事業者から、近年の一般利用者数の減少に加えて、利用者の約6割を占める移動教室事業での利用を終了する場合、上記の契約条件による事業継続は困難として、無償貸借契約の更新を希望しない旨の申し出があった。
- 他区において宿泊施設を運営している事業者（5事業者）に対し、両施設の運営の可能性についてヒアリングを行ったが、いずれの事業者も移動教室事業での利用がない状況では運営困難との回答であった。

#### （4） 交流自治体と民営化宿泊施設との関係

- 区は、平成24年8月に富士学園が設置されている山梨県忍野村と、平成24年9月に弓ヶ浜クラブが設置されている静岡県南伊豆町と、それぞれ「災害時相互援助協定」を締結し、自治体間交流を続けている。
- 山梨県忍野村及び静岡県南伊豆町との自治体間交流においては、それぞれの施設を活用した事業は行っていない。

## 4 区民意見の概要と区の考え

### （1） 中間まとめに対する区民意見聴取の実施

- 両施設は利用者が区内全域に広く存在すること等を考慮し、区政モニターアンケート及び広く区民を対象にしたWEBアンケートにより、中間まとめに対する区民意見を聴取した（合計544人）。
- WEBアンケートは、広報すぎなみ10月1日号（通常の新聞折り込みや広報スタンドでの配布に加えて、区立小中学校全校の児童・生徒に配布）と区公式ホームページに記事を掲載するとともに、区公式ツイッターにより周知を図った。さらに、富士学園については、施設にアンケート実施のチラシを設置したほか、施設の運営事業者から利用者へ個別にお知らせを送付し、アンケートへの協力を依頼した。

区分	内容	
対象	区政モニター	杉並区民
調査期間	令和4年10月3日～10月24日	令和4年10月1日～10月30日
調査方法	WEB回答もしくは郵送	WEBアンケート
回答状況	143人／200人（回答率72%）	401人

### （2） アンケート集計結果の概要

- 移動教室を除く利用頻度については、両施設共に、「利用したことはない」が「利用したことがある」（「1回」「2回」「3回以上」と回答した人の合計）を上回った。「利用したことはない」理由は、「その他」が最も多く、「施設の存在を知らなかった」「一般利用できることを知らなかった」とする回答が多かった。

【富士学園】

回答	理由＜複数選択可＞
<p>・利用したことはない ※移動教室は除く 74% (400人)</p>	<p>施設が古い 71 利用したい設備が施設にない 70 交通が不便 64 周辺の観光地に魅力がない 37 申し込んだが予約できなかった 19 その他 209</p> <p>【その他の回答の内容】 ・施設の存在を知らなかった 97人 ・一般利用できることを知らなかった 33人 ・機会がなかった 22人 ・魅力を感じなかった 12人 等</p>
<p>・利用したことがある ※移動教室は除く (「1回」「2回」「3回以上」と回答した人の合計) 26% (144人)</p>	<p>料金が安い 100 周辺の観光地 78 サービス（食事や接客など）が良い 70 補助金制度がある 70 家族や友人に誘われた 52 利用したい設備が施設にある 50 交通が便利 33 その他 15</p> <p>【その他の回答の内容】 ・合宿 7人 ・卒園旅行 1人 等</p>

【弓ヶ浜クラブ】

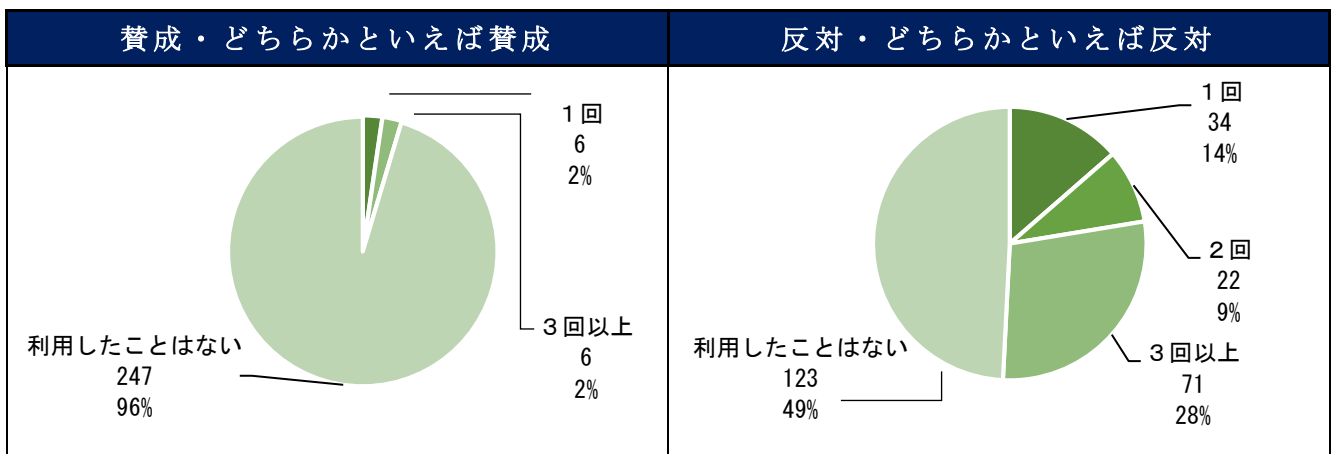
回答	理由＜複数選択可＞
<p>・利用したことはない ※移動教室は除く 77% (418人)</p>	<p>交通が不便 82 施設が古い 53 利用したい設備が施設にない 47 申し込んだが予約できなかった 13 周辺の観光地に魅力がない 4 その他 203</p> <p>【その他の回答の内容】 ・施設の存在を知らなかった 104人 ・一般利用できることを知らなかった 40人 ・機会がなかった 23人 等</p>
<p>・利用したことがある ※移動教室は除く (「1回」「2回」「3回以上」と回答した人の合計) 23% (126人)</p>	<p>料金が安い 95 周辺の観光地 78 補助金制度がある 69 サービス（食事や接客など）が良い 60 家族や友人に誘われた 46 交通が便利 11 利用したい設備が施設にある 2 その他 9</p> <p>【その他の回答の内容】 ・海から近い 3人 ・家族旅行 1人 等</p>

- 中間まとめに対する賛否については、両施設共に、賛成（どちらかといえば賛成を含む。以下、同じ。）が反対（どちらかといえば反対を含む。以下、同じ。）を上回った。両施設共に、賛成の理由は、「施設の老朽化のため多額の改修経費が必要になるから」「利用している人が少ないから」が半数を占めた。一方で、反対の理由は、「区の施設は安心して利用できるから」が最も多く、次いで「定期的に利用している、今後利用するつもりでいるから」が多かった。
- 賛成・反対を施設の利用頻度別でみると、両施設共に、賛成は「利用したことはない」が9割を超え、反対は「利用したことがある」が半数程度となっている。
- また、利用したことはない人の約6割は賛成である一方、利用したことがある人の約8割が反対しており、利用経験の有無によって賛成・反対が分かれる結果となった。

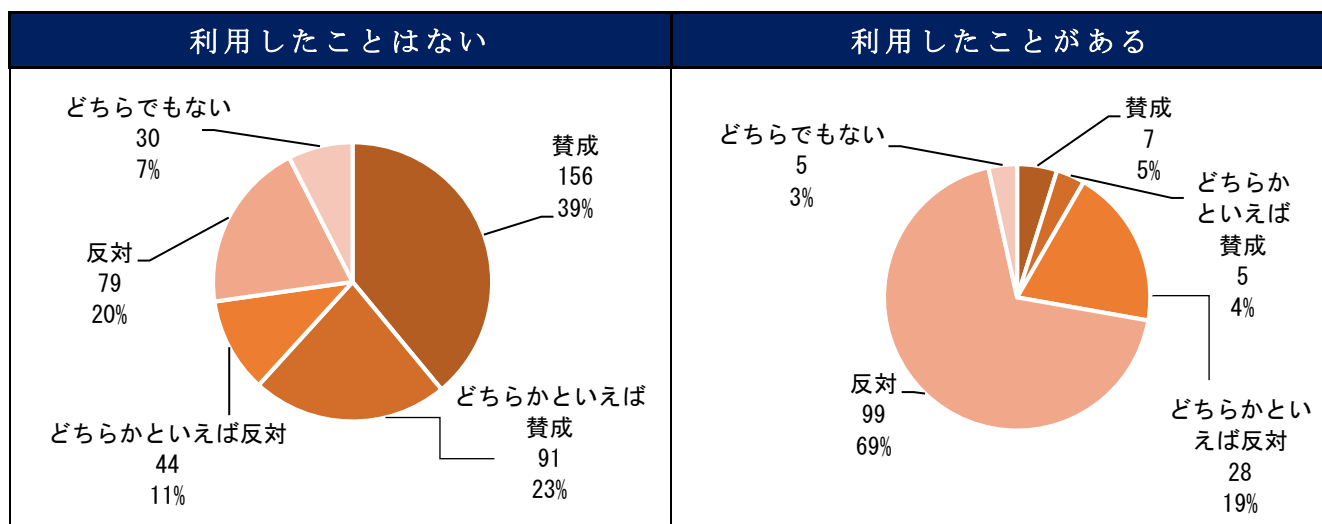
【富士学園】

回答	理由<複数選択可>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 賛成</li> <li>・ どちらかといえば賛成</li> </ul> <p>48% (259人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 施設の老朽化のため多額の改修経費が必要になるから (132人)</li> <li>➢ 利用している人が少ないから (132人)</li> <li>➢ 民間の宿泊施設があるから (62人)</li> <li>➢ 利用したことはない、利用するつもりはないから (57人)</li> <li>➢ その他 (18人)</li> </ul> <p>【その他の回答の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時代とともに移動教室も変えた方がよい (6人)</li> <li>・ 保養施設を保有する時代は終わった (3人) 等</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 反対</li> <li>・ どちらかといえば反対</li> </ul> <p>46% (250人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 区の施設は安心して利用できるから (142人)</li> <li>➢ 定期的に利用している、今後利用するつもりでいるから (103人)</li> <li>➢ 地元自治体との交流のために必要だから (53人)</li> <li>➢ 人数は少ないものの利用している人がいるから (15人)</li> <li>➢ その他 (85人)</li> </ul> <p>【その他の回答の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移動教室で使ってほしい (34人)</li> <li>・ 移動教室で利用した思い出の場所だから (9人)</li> <li>・ 移動教室の今後に不安があるから (7人) 等</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どちらでもない</li> </ul> <p>6% (35人)</p>	

◆ 賛成・反対と回答した人の施設の利用頻度



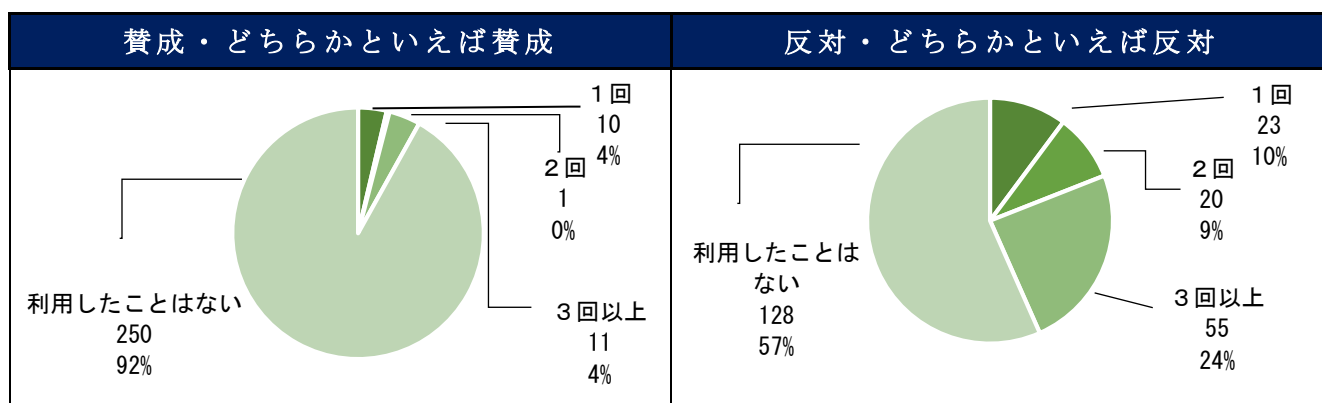
◆ 利用経験の有無と中間まとめに対する賛否



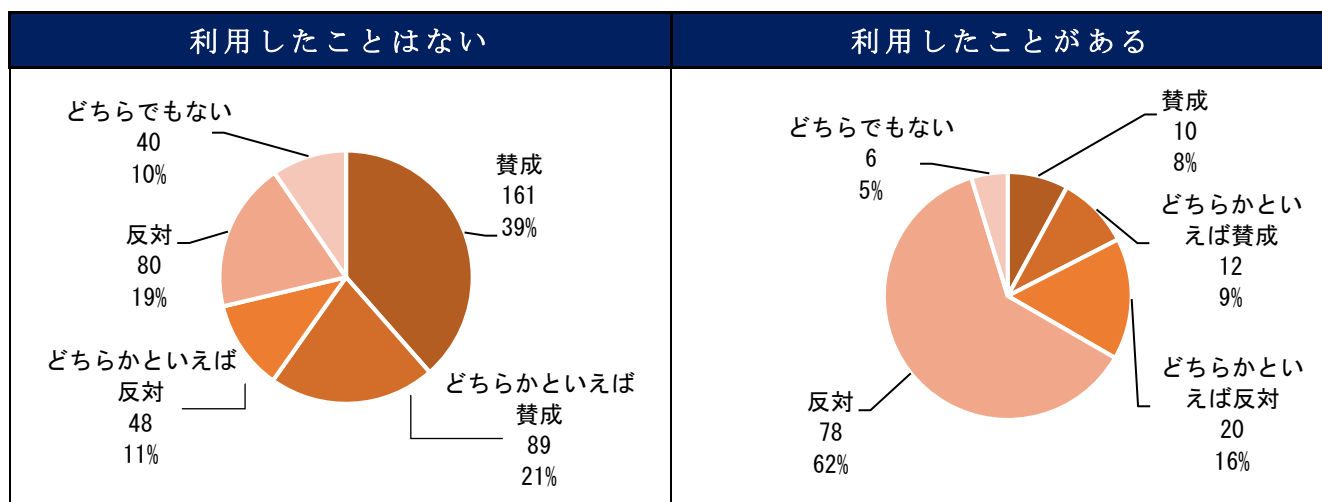
【弓ヶ浜クラブ】

回答	理由<複数選択可>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 賛成</li> <li>・ どちらかといえば賛成 50% (272人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 施設の老朽化のため多額の改修経費が必要になるから (215人)</li> <li>➢ 利用している人が少ないから (123人)</li> <li>➢ 民間の宿泊施設があるから (61人)</li> <li>➢ 利用したことはない、利用するつもりはないから (60人)</li> <li>➢ その他 (17人)</li> </ul> <p>【その他の回答の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時代と共に移動教室も変えた方がよい (7人)</li> <li>・ 交通が不便だから (4人) 等</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 反対</li> <li>・ どちらかといえば反対 42% (226人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 区の施設は安心して利用できるから (131人)</li> <li>➢ 人数は少ないものの利用している人はいるから (108人)</li> <li>➢ 定期的に利用している、今後利用するつもりでいるから (91人)</li> <li>➢ 地元自治体との交流のために必要だから (58人)</li> <li>➢ その他 (70人)</li> </ul> <p>【その他の回答の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移動教室で使ってほしい (27人)</li> <li>・ 移動教室の今後に不安があるから (7人)</li> <li>・ 移動教室で利用した思い出の場所だから (6人) 等</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どちらでもない 8% (46人)</li> </ul>	

◆ 賛成・反対と回答した人の施設の利用頻度



◆ 利用経験の有無と中間まとめに対する賛否



○ 自由記入欄（中間まとめの内容や廃止後の有効活用策）には、それぞれの立場から多様な意見が寄せられた。

賛否	主な内容
・ 両施設共に廃止賛成	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 施設維持にかかる予算を他の事業に充てるべき。(同趣旨 14 件)</li> <li>➢ 売却した方がよい。(同趣旨 14 件)</li> <li>➢ 民間施設を活用すればよい。(同趣旨 10 件)</li> <li>➢ 利用者が減っている実情等から、廃止はやむを得ないと思う。(同趣旨 8 件)</li> <li>➢ 思い出の施設ではあるものの、残念ながら役割は終わったと感じた。(同趣旨 7 件)</li> <li>➢ 時代は変わり、区が保有する必要はない。(同趣旨 6 件)</li> </ul>
・ 富士学園廃止反対 弓ヶ浜クラブ廃止賛成	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 富士学園は改修して引き続き区民が利用できるようにしてほしい。(同趣旨 5 件)</li> <li>➢ 富士学園は、適切な情報提供などが行われれば、もっと利用者が増えると思う。(同趣旨 3 件)</li> </ul>
・ 富士学園廃止賛成 弓ヶ浜クラブ廃止反対	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 弓ヶ浜クラブは魅力があるので廃止しないでほしい。(同趣旨 3 件)</li> </ul>
・ 両施設共に廃止反対	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ もっと宣伝活動をすれば、利用者が増えると思う。(同趣旨 18 件)</li> <li>➢ 改修して今後も区民が利用できる施設として残してほしい。(同趣旨 16 件)</li> <li>➢ 定期的に利用しているので廃止しないでほしい。(同趣旨 16 件)</li> <li>➢ 思い出の場所であり、継続して施設を利用できるようにしてほしい。(同趣旨 13 件)</li> <li>➢ 廃止を決定した経過に納得いかない。(同趣旨 9 件)</li> <li>➢ 移動教室用施設として継続してほしい。(同趣旨 9 件)</li> </ul>

(3) 区民意見に対する区の考え

○ 両施設共に、利用したことはない人の理由は、「施設の存在を知らなかった」が最も多く、「一般利用できることを知らなかった」との意見も多い。このことから、移動教室事業で使用していない期間は、当該施設を一般利用向けに供していることが知られていなかったといえるが、区としては、これまでも広報すぎなみ及び区公式ホームページへの掲載や区立施設へのチラシの設置等のほか、各運営事業者の工夫により、各施設ホームページでの情報発信や各種民間宿泊予約サイトへの掲載等の周

知に取り組んできたところである。一方、「利用したい設備が施設にない」「交通が不便」との意見も多く、設備や立地の面から宿泊先として選択されていないことがわかる。これは、当該施設が遠方に位置していることに加え、移動教室事業のための校外施設であり、一般利用向けの宿泊施設としては必ずしも使い勝手が良いとはいえないという区としての課題認識を、多くの区民も同様に持っていることが伺える。

- 両施設共に、利用したことがある人の理由は、「料金が安い」が最も多い。しかしながら、国内での旅行市場が成熟し、民間においても安価に宿泊できる施設がある中で、一般利用向けの宿泊施設としては必ずしも使い勝手が良いとはいえない当該施設が、今後とも区民に宿泊先として選択されるか、また、多額の経費を負担して施設を継続活用していくことが妥当であるか、方向性を定める必要がある。
- 中間まとめに対して「反対・どちらかといえば反対」と回答した人のうち、その理由を「その他」とした人の半数以上が「移動教室で使ってほしい」「移動教室の今後に不安があるから」など、「移動教室」を理由としている。移動教室事業については、当該施設での継続が困難であることから、今後、民間宿泊施設を利用して継続するものであり、教育委員会が学校現場と連携し、教員の意見も取り入れながら、体験プログラムの編成や安全確認を丁寧に行い、充実を図っていくことなど、区の広報や公式ホームページ等を通して区民への説明を尽くしていく。
- 問 15 の自由記入欄においては、区の間まとめを唐突な決定と受け止める意見が複数あった。区では、区民にこうした唐突感を持たれることがないように、最終方針の決定前に、施設の現状や利用状況、区の考えなどを区民に説明すべきと考え、今回、中間まとめの段階で、アンケートを実施し、区民の意見を聴取したところである。しかしながら、中間まとめでは、検討経過の説明が十分ではなかったことから、前述の「2 富士学園及び弓ヶ浜クラブのあり方検討の経過」に、検討開始時点からの経過も含めて記述することとした。
- また、問 15 の自由記入欄においては、賛成・反対共に、移動教室で過ごした思い出の場所として懐かしむ声が多数あった。思い出の場所であるがためになんとか存続してほしい、と廃止に反対の意見がある一方、思い出の場所ではあるが多額の経費を掛けてまで維持する必要はない、と廃止に賛成の意見もあった。思い出の場所を大切にしていきたいという意見は理解できるものの、施設の現状を踏まえると、これを理由に存続することは難しいことなど、区の広報や公式ホームページ等を通して区民への説明を尽くしていく。

## 5 最終方針

中間まとめに対する区民意見とその意見に対する区の考えを踏まえ、今後の両施設のあり方等についての最終方針を以下のとおりとする。

### (1) 富士学園及び弓ヶ浜クラブ（民営化宿泊施設）の廃止

- 富士学園は、令和4年度末に移動教室事業での利用を終了することから、現運営事業者との無償貸借契約満了を迎える令和4年度末をもって廃止する。
- 弓ヶ浜クラブは、令和5年度までは移動教室事業での利用を予定していることから、現運営事業者との無償貸借契約を1年間更新し、令和5年度末をもって廃止する。

### (2) 財産の有効活用策の検討

- 民営化宿泊施設廃止後の建物及びその敷地については、区民意見も参考に、忍野村及び南伊豆町の意向を確認した上で、地域特性を生かした活用策を検討する。併せて、不動産鑑定の結果を踏まえて、事業者等にヒアリングを行い、賃貸借による活用や売却など、最も有効な財産活用策を検討する。

【参考】不動産鑑定評価額（令和4年12月1日時点）

富士学園（建物及び敷地）	261,000,000円
弓ヶ浜クラブ（建物及び敷地）	45,600,000円

### (3) 忍野村及び南伊豆町との自治体間交流

- 民営化宿泊施設廃止後も、忍野村及び南伊豆町と相互に連携を図りながら、区役所等での観光物産展や写真展の開催、観光パンフレットの配布、区公式ホームページ・SNSを活用したイベント等での交流・情報発信を行う。
- 引き続き、お試し移住や地元との交流事業等による関係人口の創出など、地方創生に向けた取組を推進していくとともに、忍野村及び南伊豆町の取組のPRを積極的に実施するなど、区民と地元との交流を促進していく。

### (4) 移動教室の実施方法

#### ① 小学5年生の移動教室事業

- 富士五湖周辺の民間宿泊施設を利用して実施し、これまで富士学園周辺で蓄積してきた体験プログラム等のノウハウを生かしつつ、今後は、各校の希望する時期に移動教室事業を実施できることから、各校の特色に応じた教育活動の充実を図っていく。
- このほか、忍野村内の民宿で実施してきた忍野村観光協会の協力による郷土料理体験については、村民と交流しながらの貴重な体験となることから、今後も継続していく。

#### ② 小学6年生の移動教室事業

- 一部の学校を除き、令和6～8年度については、これまでと比較して移動時間が短く、体験プログラムが豊富な長野県白樺湖周辺で実施し、現地での十分な活動時間を生かして各校の特色に応じた教育活動を行い、充実を図っていく。

- 児童数の少ない一部の学校では、これまでも宿泊日数を増やした上で南伊豆町の複数の民宿に分宿し、町民との交流も行っていることから、今後も引き続き、南伊豆町で実施し、交流体験や自然体験等の充実した活動を行っていく。

### ③ 事業の経費

- これまでと同様に、宿泊費・バス代等を公費で負担することとする。

### (5) 区民への保養機会の提供

- 従来の区民利用者に対しては、代替施設としてコニファーいわびつや湯の里「杉菜」(協定旅館)のほか、北塩原村との「まるごと保養地協定」・青梅市との「交流に関する協定」施設※を案内する。

※区民等は、北塩原村(平成16年11月締結)及び青梅市(平成21年5月締結)の一部の宿泊施設・店舗などで割引等の適用を受けることができる。

- 「区政経営改革推進計画」に基づく、令和5年度のコニファーいわびつのあり方の検討・方針決定に当たっては、区民への保養機会の提供に係る今後のあり方についても併せて検討する。